

平成 29 年度
事業報告書
決 算 書

一般社団法人 静岡県発明協会

【第1号議案】

平成29年度事業報告

会員数 平成29年4月 1日現在 法人会員86 個人会員54 賛助会員7 計147
 平成30年3月31日現在 法人会員87 個人会員59 賛助会員7 計153

1. 発明の奨励に関する表彰及び展覧会

①全国発明表彰

本発明表彰は、皇室より毎年御下賜金を拝受し、そのご趣旨に沿い、発明の奨励、育成を図り、我が国の科学技術の向上と産業の発展に寄与するため、発明協会が主催し、文部科学省、経済産業省、特許庁、日本経済団体連合会、日本商工会議所、日本弁理士会及び朝日新聞社の後援を得て、全国を対象に、独創性に富む極めて優れた発明を完成された方々及び発明の指導、育成に貢献された方々等の功績を称え、表彰している。本県からは2社3件を推薦した。

平成29年度全国発明表彰式

日 時 平成29年6月12日（月）

会 場 ホテルオークラ東京 別館2階「オーチャードルーム」

平成29年度全国発明表彰受賞者一覧

受賞名	応募発明・創作の名称	会社名
発明賞	軽ワゴンとSUVが融合した新ジャンルの車	スズキ株式会社

②関東地方発明表彰

本表彰は、地方において優秀な発明と認められると共に、その実施効果が高く地域産業の向上に寄与された方の功績を顕彰するものである。

本年度の表彰受賞総数は170件で、うち本県関係は下記の一覧のとおり12件を推薦した。

平成29年度関東地方発明表彰式

日 時 平成29年11月2日（木）

会 場 パレスホテル大宮（さいたま市大宮区桜木町1-7-5）

平成29年度関東地方発明表彰受賞者一覧

受賞名	発明の名称	受賞者名	会社名
文部科学大臣賞	自然の風を再現する技術を有する空気調和機	森岡 怜司	三菱電機株式会社
		中村 聡規	
静岡県知事賞	照射方向可変機能付車両用灯具	田島 計一	株式会社小糸製作所
静岡県発明協会会長賞	高効率、高信頼性小形空調用圧縮機	五前 尚久	三菱電機株式会社
		谷 真男	
		新井 聡経	
静岡県発明協会会長賞	印刷された画像を消色可能な消色装置	井口 健	東芝テック株式会社
		八幡伊佐雄	
		川口 貴弘	
		杉崎 芳晃	株式会社テックプレジジョン
		水谷企久夫	東芝テック株式会社
		瀧 裕之	
		土橋 宏行	
飯塚 千秋	元東芝テック株式会社		
横地 秀俊			

受賞名	発明の名称	受賞者名	会社名
発明奨励賞	軸物ワークの加工装置	村上 正俊	本田技研工業株式会社
		北藤 昌治	
発明奨励賞	エアコン化粧パネル取付ネジの手持レス構造	丸山 雅晃	三菱電機エンジニアリング株式会社
		瀧下 隆明	
		古田 辰夫	
		松永 尚也	
島山 浩幸			
発明奨励賞	コード読取装置、販売データ処理装置	内藤 英浩	東芝テック株式会社
発明奨励賞	可変速形オイルフリースクリュー圧縮機	西村 仁	株式会社日立産機システム
		鈴木 昭	元株式会社日立産機システム
発明奨励賞	空気調和機の電気機器制御装置	小泉 哲弥	東芝キャリア株式会社
		笠井 順司	東芝キャリア欧州社
		高橋 功	東芝キャリア株式会社
		上田 昇	
発明奨励賞	既設配管再利用可能な業務用エアコン	寺崎 明	東芝キャリア株式会社
		川合 信夫	元東芝キャリア株式会社
発明奨励賞	送風装置及びそれを備えた空気調和機の室外機	岩瀬 拓	株式会社日立製作所
		岸谷 哲志	日立ジョンソンコントロールズ空調株式会社
		橋本 裕太	
		八木 浩作	
発明奨励賞	圧縮機内蔵オイルストレナ構造	日置 泰宏	日立ジョンソンコントロールズ空調株式会社
		飯塚 泰成	

2. 青少年の創造性開発及び育成

① 学生児童発明くふう展・未来の科学の夢絵画展

当協会主催、静岡県・県教育委員会・関東経済産業局・（公社）発明協会・日本弁理士会・静岡市教育委員会・県市長会・県町村会・（公財）静岡県産業振興財団、各報道機関の後援により、「第65回静岡県学生児童発明くふう展」と、「第40回静岡県未来の科学の夢絵画展」を開催した。

会 期 平成29年11月10日(金)～11月12日(日) (表彰式11月12日)

会 場 静岡県庁別館21階展望ロビー (入場者延べ3,073人)

ア 第65回静岡県学生児童発明くふう展

我が国の将来を担う児童生徒に、発明くふうの楽しさを体得させるとともに優れた発明くふう作品を顕彰することにより、創造性豊かな人間形成を図る。

	応募数	入選数
小学生	38点	14点
中学生	27点	14点
合 計	65点	28点

上記県展で入選した作品の内から、小学生9点、中学生9点を第76回全日本学生児童発明くふう展に推薦出品し、次の方々を受賞した。

受賞名	作 品 名	学 校 名	学年	氏 名
入選	ワンタッチリトリ	浜松市立積志中学校	中1	工藤 大雅
入選	定長テープカッター	富士市立岳陽中学校	中1	高石 晃汰

イ 第40回静岡県未来の科学の夢絵画展

未来の科学に関する夢を絵画として表現させるとともに優れた作品を顕彰することにより、次代を担う児童生徒の科学的な探求心と創造力の伸長を図る。

	応募数	入選数
小学生	32点	17点
中学生	12点	6点
合計	44点	23点

上記県展で入賞した23点を、全国展の第40回未来の科学の夢絵画展へ推薦し、次の方が受賞した。

受賞名	作品名	学校名	学年	氏名
経済産業大臣賞	地しん力発電	湖西市立知波田小学校	小5	山本 伊織
発明協会会長賞	蚊が人類を救う	静岡大学教育学部附属 浜松中学校	中3	森田 峻介
優秀賞	手、足が不自由な人 でも幸せな、いす	湖西市立東小学校	小4	夏目 妃菜
奨励賞	空飛ぶきゅう命チョコ ッキ	湖西市立鷺津小学校	小4	佐藤 ほの

ウ 後援

児童の創造性開発育成のため、下記に対し後援・協賛した。

- 1) 第52回富士市発明くふう展後援
- 2) 第31回島田市小中学生アイデア工作展後援
- 3) 第35回湖西発明くふう展並びに第24回湖西未来の科学の夢絵画展後援
- 4) 第39回浜松市小・中学生発明くふう展後援
- 5) 第4回三島せせらぎミニミニ水力発電コンテスト協賛

3. 知的財産権制度の普及啓発

県及び独立行政法人工業所有権情報・研修館から請負った産業財産権に関わる事業を実施し、産業財産権制度の普及啓発に努めた。

① 知的財産流通促進事業（静岡県からの受託事業）

平成29年度は「大手企業の開放特許による知的財産マッチング」から実施許諾契約3件の実績を上げることができた。静岡県の「新成長戦略研究」に関わる幾つかの案件について、共同研究や共同出願の支援を行うことができた。その中には、数年前に発明抽出して出願支援し、平成29年度になり基本特許が成立した案件も含まれる。事業プロデューサーとの連携については、幾つかの企業や案件を紹介してみたが、期待した展開はできなかった。また、期中に東部の活動費の予算が追加され、8月から意識的に東部でのマッチング活動等を行ったものの、実施許諾には至らなかった。大学生による知財活用アイデアの『知財活用スチューデントアワード（全国大会）』では、静岡文化芸術大学のチームを優秀賞に導くことができた。活動項目別の実績等数値は下表のとおりで、何れの項目でも前年度の実績を上回ることができた。

活動項目		東部	中部 ^(西郡含)	合計値／達成率		前年度実績比
訪問企業件数	計画	21	305	326	104%	107%
	実績	32	308	340		
来訪件数	計画	0	65	65	112%	109%
	実績	5	68	73		

活動項目		東部	中部 (西部含)	合計値/達成率	前年度実績比	
マッチング件数	計画	4	55	59	127%	109%
	実績	7	68	75		
成約件数	計画	2	16	18	100%	113%
	実績	0	18	18		
事業化件数	計画	1	5	6	50%	100%
	実績	0	3	3		
講習/講演	計画	0	44	44	136%	136%
	実績	11	49	60		

実施体制：特許流通アドバイザー 1名

② 知的財産マッチング事業

大手企業の開放特許を会員企業や地域の中小企業に繋ぐ知的財産マッチング会を静岡県産業振興財団と共催した。なお、11月と3月の開催は、多くの企業を招いての案件紹介のプレゼンを行わずに、企業訪問等により事前に募った企業による個別面談のみを行った。

ア 知的財産マッチング in 浜松

日 時 平成29年7月20日(木)

会 場 アクトシティ浜松

参加企業 中部電力株式会社、国立研究開発法人 産業技術総合研究所

イ 知的財産マッチング (静岡)

日 時 平成29年11月24日(金)

会 場 静岡県産業経済会館

参加企業 (株)イトーキ

ウ 知的財産マッチング (静岡)

日 時 平成30年3月23日(金)

会 場 静岡県産業経済会館

参加企業 日本原子力研究開発機構

③ 知財総合支援窓口運營業務 INPIT (独立行政法人工業所有権情報・研修館) 請負事業

中小企業等が抱える知的財産権に関する悩みや課題をワンストップで解決できる支援を行うため、知財総合支援窓口を設置した。

ア 支援の対象

中小・ベンチャー企業及び個人事業主、創業予定の個人(以下、「中小企業等」という。)を対象として実施した。

イ 実施体制

中部(本部)2名(常勤1名、非常勤1名)

東部(沼津支所)1名(常勤)

西部(浜松支所)1名(常勤)

ウ 知財専門家の活用

窓口支援担当者及び相談対応者は、中小企業等の悩みや課題を解決するため、知財専門家と共同して、窓口での相談支援や中小企業等に直接訪問して解決支援を行った。

1) 候補者の選定

知財専門家の選定にあたっては、弁理士、弁護士及び産業財産権に関する高度かつ専門的知見を有する知財OBや中小企業診断士等、当協会が保有する人材データベースや特許庁その他支援機関が保有する人材データベースを活用し、課題解決に適した人材を選定した。

2) 活動概要

知財専門家は、窓口支援担当者・相談対応者、支援機関等と十分な打ち合わせ(課題の把

握、支援先企業の状況等)を行った上で、事業活動の各段階における様々な課題に対応する解決方法等について適切な指導・助言を行い、解決支援を行った。

エ 知財アドバイザーの活用

知的財産活用企業の裾野の拡大を図るため、中小企業診断士及び企業OBを知財アドバイザーに選定し、企業を訪問することにより、知的財産活用の重要性の理解や知的財産活用の推進を図った。

オ 支援実績

項目	目標(件)	実績(件)	達成率(%)	前年度実績比	参考(H28年度)
窓口相談受付	2,080	2,563	123.2	101.9	2,514
専門家活用	280	405	144.6	99.8	406
新規相談件数	530	533	100.6	102.3	521
普及啓発訪問企業数	100	122	122.0	102.5	119
顧客満足度調査結果	90.0	99.1	—	—	96.8

カ 電子出願支援用端末機器利用実績

電子出願支援用端末機器利用実績は、24人で、1月当たり約2人が利用している。

職業別では、中小企業の利用が24人中17人(70.8%)と大部分を占めており、地域別では、電子出願支援用端末機器を設置する静岡市の利用が8人と最も多い。

キ 連携会議の開催状況

支援機関との連携強化を図るため、知財総合支援窓口運営業務支援機関連携会議を2回開催した。

会議の参加者は関東経済産業局、INPIT、静岡県、静岡市、浜松市、沼津市、(公財)静岡県産業振興財団、(公財)浜松地域イノベーション推進機構、東部地域イノベーションセンター、(公社)静岡県国際経済振興会、静岡県商工会連合会、日本貿易振興機構(ジェトロ)静岡貿易情報センター・浜松貿易情報センター、静岡県よろず支援拠点、静岡県警及び当協会から、各機関の管理者や担当者が集まり、本事業の目的を再確認し、それぞれの活動状況や共同支援の実例、課題や問題点、今後の活動方法などについて協議・検討が行われ、より一層連携強化が図られた。

(会議開催日)

第1回 平成29年 6月5日

第2回 平成29年 11月8日

ク 事業の周知、広報活動の実績

(1) ホームページの整備

静岡県発明協会のトップページに「知財総合支援窓口」のバナーを設け、主な支援内容とともに、窓口担当者や支援事例の紹介をしている。また、連絡先や案内地図も表示できるようにしてあり、事業の周知に努めた。

(2) 事業内容リーフレット等の作成

見開きA3のリーフレットを、合計4,000部作成、配布した。配布先は、商工会議所、商工会等の支援機関や金融機関等である。

(3) 広告媒体の活用

公益財団法人静岡県産業振興財団が発行している「融資・助成金等の手引き」に知財総合支援窓口の紹介について掲載した。

地元新聞に「発明の日(4月18日)」に、知財総合支援窓口運営業務を紹介するとともに、毎月題字下に知財総合支援窓口の案内を掲載した。

4. 公報等各種情報提供

①県内の特許公報等分類別動向調査(29.4～30.3)

区分(注1)	A	B	C	D	E	F	G	H	合計
公開特許公報	337	1,071	96	17	126	616	627	582	3,472
特許公報	186	698	75	14	68	385	414	440	2,280
登録実用新案公報	49	29	2	5	19	8	11	1	124
公表特許公報							1		1
再公表特許公報(注2)	26	67	19	3		81	41	58	295
合計	598	1,865	192	39	213	1,090	1,094	1,081	6,172

(注1) A=生活必需品. B=処理操作・運輸. C=化学及び冶金. D=繊維及び紙
E=固定構造物. F=機械工学・照明・加熱・武器・爆破. G=物理学. H=電気
(注2) PCT(国際特許協力条約)に基づく国際出願の内容を日本語で公表した公報

②先行技術調査の奨励

特許や実用新案の出願時における事前調査並びに特許審査請求時における事前調査を奨励、実施した。

③特許公報類の検索・閲覧サービス

特許情報プラットフォーム(J-PlatPat)を活用した特許情報の検索・閲覧サービスを行った。

5. 知的財産権に係わる人材育成等セミナー・講演会・交流会

研究者や企業関係者等を講師に迎えた講演会を開催し、講師との交流や実践的な連携により、県内企業の知的財産権に係る啓発と利活用の促進を図った。

ア 研究会活動 「産業財産権関連実務研究部会(通称:パテント部会)」

知財に関する様々な問題が起こらないよう、また企業のビジネスに知財を有効に活用できるよう、どのように知財管理を進めるべきかを探し出すため、企業の中で必要だとされている知財管理に関するテーマを決め、討論形式により進めた。

回数	月 日	講演会・研究会等	参加者	会場
第1回	4月19日	(1)平成28年度年間事業紹介 平成28年度活動報告・平成29年度事業計画、 (2)講演 「トヨタ自動車の知的財産戦略」 講師:トヨタ自動車(株)知的財産部 企画統括室長 飯田 陽介 氏	71名	ペガサート
第2回	5月17日	1の島 演習 「特許ことはじめ#1 発明のとらえ方入門」 進行:特許流通アドバイザー 風間 泰寛 氏	9名	ペガサート
		2の島 講座・演習 「進歩性の改訂審査基準を勉強する」 進行:アウル国際特許事務所 弁理士長谷川 和家 氏	19名	
第3回	6月27日	記念講演会 「営業秘密流出防止 ・サイバーセキュリティ対策について」 講師:県警生活安全部 中西浩 氏、千須和 由匡 氏 警備部 高林 秀行 氏	34名	県産業 経済会館

第4回	7月19日	1の島 演習 「特許ことはじめ#2 特許調査入門研修」 進行：石垣パテントサービス 石垣 明彦 氏	14名	ペガサート
		2の島 講座・演習 「分割出願による他社ビジネスへの長期けん制戦略講座」 進行：Sun Lingmu Office 鈴木 直博 氏	27名	
第5回	9月20日	判例紹介及び討論 裁判例からひも解く！ 『類似はどこまでゆるされる？』 進行：(意匠)石垣春樹 氏、(商標)久野 一秀 氏 (不競法) 東山 喬彦 氏	28名	ペガサート
第6回	10月18日	講演『概念検索を使ってみる!』 講師：六車技術士事務所 六車 正道 氏	20名	ペガサート
第7回	11月14日	見学会 1) ファルマバレーセンター 2) AOI-PARC	21名	長泉町 沼津市
第8回	12月20日	30周年・300回達成記念式典 30周年の歩み (株)巴川製紙所 中村 仁 氏 記念講演 『高糖度トマト「アメラ」のマーケティング戦略』 講師：(株)サンファーマーズ 社長 稲吉 正博 氏 『どうすれば「強いブランド」が生まれるのか?』 講師：静岡県立大学 教授 岩崎 邦彦 氏	51名	県産業 経済会館
第9回	2月21日	話題提供) 世界の特許出願の傾向 ～国別の特許出願数調査の試み～ プレゼンター：クミアイ化学工業(株) 山路 孝二 氏	21名	ペガサート
第10回	3月14日	講演 『企業における知的財産管理!』 講師：(一社)化学情報協会 松谷 貴己 氏	26名	ペガサート

イ 知的財産活用基本セミナー「知財管理ことはじめ」

参加者のビジネスの内容、企業規模、知財への関わり程度等を考慮して、企業の現状の問題点、課題等を見つけ出し、討論形式により、その企業にふさわしい知財管理を探し出す。

回数	月 日	講演会・研究会等	参加者	会場
第1回	4月19日	本講座の総括・意見交換会 進行：Sun Lingmu Office 鈴木 直博 氏	12名	ペガサート
第2回	9月20日	「発明～特許出願の過程について」 進行：クミアイ化学工業(株) 山路 孝二 氏	9名	ペガサート
第3回	12月20日	「発明～特許出願の過程について(続編)」 進行：クミアイ化学工業(株) 山路 孝二 氏	16名	県産業 経済会館

第4回	2月21日	「共同研究（開発）・共同発明について」 ～それって共同発明だったの？ いきなり相手から言われたらあなたは どうしますか？～ 進行：(株)巴川製紙所 知的財産グループ グループマネージャー 中村 仁 氏	14名	ペガサート
-----	-------	--	-----	-------

ウ 知的財産権説明会（発明推進協会への協力事業）

項目	実施日	会場	参加者
初心者説明会	平成29年7月27日	静岡県産業経済会館	115名
	平成29年9月14日	アクトシティ浜松	68名

6. 会議等

- (1) 会計監査 平成29年 5月10日 当協会
- (2) 総会 平成29年 6月27日 静岡県産業経済会館
- (3) 理事会 平成29年 5月26日 静岡県産業経済会館
平成29年 6月27日 静岡県産業経済会館
平成29年12月22日 静岡県産業経済会館
- (4) パテント部会幹事会
平成29年 4月19日 他7回
- (5) 関東地方発明表彰地方選考委員会
平成29年 8月22日 パレスホテル大宮
- (6) 関東地方発明表彰式典・関東地域発明協会会長懇談会
平成29年11月 2日 パレスホテル大宮

7. 各種情報の収集及び提供事業

- (1) ホームページによる情報発信
キッズコーナー及び会員入会ページのリニューアル、情報の随時更新、メールマガジンなどにより最新の情報を発信している。
- (2) 会報誌による情報発信（知財情報しずおかを発行）
平成29年 6月 1日 2017 VOL. 4 No. 25
平成29年 9月 1日 2017 VOL. 4 No. 26
平成29年12月 1日 2017 VOL. 4 No. 27
平成30年 3月 1日 2017 VOL. 4 No. 28

(3) PR活動

全国的に会員が減少している地域発明協会が多い中、積極的なPR活動により会員の増を図った。地元新聞に、「発明の日（4月18日）」に、知財総合支援窓口運営業務の紹介に併せ、当協会のPRを実施するとともに、毎月題字下に知財総合支援窓口の案内をする際にも当協会名を掲載した。

奇数月に静岡新聞朝刊の題字下に掲載
5月9日(火)、7月4日(火)、9月4日(月)、11月7日(火)、1月9日(火)、3月1日(木)計6回
SBSラジオによるスポット広告（20秒）12回/月

8. 弁理士会静岡県委員会へのオブザーバー参加

5月12日(金)他3回

貸借対照表

一般社団法人静岡県発明協会

平成 30年3月31日現在

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	17,299,584	9,294,601	8,004,983
未収入金	21,501,354	21,353,941	147,413
流動資産合計	38,800,938	30,648,542	8,152,396
2. 固定資産			
(1) 特定資産			
発明奨励等助成金	0	4,598,965	▲ 4,598,965
退職給付引当資産	5,913,614	5,517,254	396,360
特定資産合計	5,913,614	10,116,219	▲ 4,202,605
(2) その他固定資産			
敷金	134,900	134,900	0
その他特定資産合計	134,900	134,900	0
固定資産合計	6,048,514	10,251,119	▲ 4,202,605
資産合計	44,849,452	40,899,661	3,949,791
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	1,235,529	724,474	511,055
前受金	0	50,000	▲ 50,000
預り金	1,197,053	829,631	367,422
未払消費税	928,800	1,004,900	▲ 76,100
未払法人税等	1,400,000	1,600,000	▲ 200,000
流動負債合計	4,761,382	4,209,005	552,377
2. 固定負債			
退職給付引当金	5,913,614	5,517,254	396,360
固定負債合計	5,913,614	5,517,254	396,360
負債合計	10,674,996	9,726,259	948,737
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
発明奨励等助成資産	0	4,598,965	▲ 4,598,965
指定正味財産合計	0	4,598,965	▲ 4,598,965
(うち基本財産への充当額)	(0)	(0)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(0)	(4,598,965)	(▲ 4,598,965)
2. 一般正味財産	34,174,456	26,574,437	7,600,019
(うち基本財産への充当額)	(0)	(0)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(0)	(0)	(0)
正味財産合計	34,174,456	31,173,402	3,001,054
負債及び正味財産合計	44,849,452	40,899,661	3,949,791

正味財産増減計算書

一般社団法人静岡県発明協会

平成 29年4月1日～平成 30年3月31日まで

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
① 受取会費	[3,550,000]	[3,392,500]	[157,500]
法人受取会費	2,727,500	2,567,500	160,000
個人受取会費	752,500	755,000	▲ 2,500
賛助会員受取会費	70,000	70,000	0
② 事業収益	[50,140,546]	[50,174,768]	[▲ 34,222]
発明奨励事業収益	400,000	400,000	0
情報サービス複写事業収益	80,905	79,320	1,585
情報サービス刊行物事業収益	122,408	95,079	27,329
都道府県受託収益	9,570,525	9,370,600	199,925
特許庁請負事業収益	105,050	263,088	▲ 158,038
情報・研修館請負事業収益	39,861,658	39,966,681	▲ 105,023
③ 受取発明奨励等	[4,648,965]	[4,705,425]	[▲ 56,460]
受取表彰発明奨励等	50,000	50,000	0
受取助成金振替額	4,598,965	4,655,425	▲ 56,460
④ 雑収益	[375,918]	[413,230]	[▲ 37,312]
受取利息	766	1,536	▲ 770
雑収益	375,152	411,694	▲ 36,542
経常収益計	58,715,429	58,685,923	29,506
(2) 経常費用			
① 事業費	[47,270,820]	[46,827,826]	[442,994]
発明奨励発明展事業費	2,362,207	2,452,443	▲ 90,236
発明奨励表彰式事業費	1,051,853	1,116,645	▲ 64,792
発明普及会員管理費	66,366	150,171	▲ 83,805
特許制度普及事業費	1,185,085	1,086,337	98,748
特許情報発信事業費(複写事業)	8,355	4,995	3,360
特許情報発信事業費(刊行物事業)	75,913	66,226	9,687
都道府県受託事業費	9,570,525	9,370,600	199,925
特許庁請負事業費	5,076	12,140	▲ 7,064
情報館・研修館請負事業費	32,945,440	32,568,269	377,171
② 人件費	[681,309]	[844,087]	[▲ 162,778]
給料手当	217,649	281,963	▲ 64,314
法定福利費	39,156	133,435	▲ 94,279
退職給付費用	396,360	382,560	13,800
福利厚生費	28,144	46,129	▲ 17,985
③ 事務費	[1,843,581]	[1,938,028]	[▲ 94,447]
水道光熱費	95,366	77,321	18,045
通信費	207,994	227,175	▲ 19,181
賃借料	538,380	508,860	29,520
旅費交通費	36,730	27,480	9,250
消耗品費	121,498	107,944	13,554
図書費	2,592	6,164	▲ 3,572
会議費	173,759	226,912	▲ 53,153
支払手数料	358,560	391,392	▲ 32,832
諸会費	64,500	64,500	0
租税公課	42,912	118,508	▲ 75,596
保守料	143,370	127,440	15,930
広告宣伝費	57,920	0	57,920
雑費	0	54,332	▲ 54,332
経常費用計	49,795,710	49,609,941	185,769
当期経常増減額	8,919,719	9,075,982	▲ 156,263
2. 経常外増減の部			

正味財産増減計算書

一般社団法人静岡県発明協会

平成 29年4月1日～平成 30年3月31日まで

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
税引前当期一般正味財産増減額	8,919,719	9,075,982	▲ 156,263
法人税、住民税及び事業税	1,319,700	1,600,000	▲ 280,300
当期一般正味財産増減額	7,600,019	7,475,982	124,037
一般正味財産期首残高	26,574,437	19,098,455	7,475,982
一般正味財産期末残高	34,174,456	26,574,437	7,600,019
II 指定正味財産増減の部			
① 一般正味財産への振替額	[▲ 4,598,965]	[▲ 4,655,425]	[56,460]
一般正味財産への振替額	▲ 4,598,965	▲ 4,655,425	56,460
当期指定正味財産増減額	▲ 4,598,965	▲ 4,655,425	56,460
指定正味財産期首残高	4,598,965	9,254,390	▲ 4,655,425
指定正味財産期末残高	0	4,598,965	▲ 4,598,965
III 正味財産期末残高	34,174,456	31,173,402	3,001,054

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

- (1) 有価証券の評価基準及び評価方法
該当資産無し
- (2) 棚卸資産の評価基準及び評価方法
該当資産無し
- (3) 固定資産の減価償却の方法
該当資産無し
- (4) 引当金の計上基準
退職給付引当金：職員の退職給付に備えるため期末時点における職員に対する退職給与の自己都合要支給額を計上
- (5) 消費税等の会計処理
税込方式によっている。

2. 特定資産の増減額及びその残高

特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
特定資産				
発明奨励等助成特定資産	4,598,965	0	4,598,965	0
退職給付引当資産	5,517,254	396,360	0	5,913,614
合 計	10,116,219	396,360	4,598,965	5,913,614

3. 特定資産の財源等の内訳

特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。(単位：円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財 産からの充当額)	(うち一般正味財 産からの充当額)	(うち負債に対 応する額)
特定資産				
発明奨励等助成特定資産	0	(0)	(—)	(—)
退職給付引当資産	5,913,614	(—)	(—)	(5,913,614)
合 計	5,913,614	(0)	(0)	(5,913,614)

4. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次のとおりである。

補助金等の名称	金 額
経常収益への振替額	
特定資産取崩収入	4,598,965
合 計	4,598,965

附属明細書

1. 基本財産及び特定資産の明細

財務諸表に対する注記2において記載している。

2. 引当金の明細

(単位：円)

科 目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
退職給付引当金	5,517,254	396,360	0	0	5,913,614

財産目録

一般社団法人静岡県発明協会

平成30年3月31日現在

(単位:円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額
(流動資産)	預金	普通預金	運転資金として 源泉徴収税等	16,102,531
		静岡銀行 本店 静岡銀行 本店		
	未収金	静岡県 情報・研修館請負事業	知的財産流通促進事業費残額 知財総合支援窓口運營業務	1,570,525 19,930,829
流動資産合計				38,800,938
(固定資産) 特定資産	退職給付引当資産	定期預金 静岡銀行 本店	職員の退職給付に備えるため、 当事業年度末における退職給付 債務に基づき引当している。	5,913,614
	その他固定資産	敷金	東部(沼津支所)	沼津支所貸付敷金 134,900
固定資産合計				6,048,514
資産合計				44,849,452
(流動負債)	未払金	静岡年金事務所 補助員 窓口担当者 (株)TOKAI他 NTTファイナンス(株) キャノンマーケティングジャパン(株) (株)SBSプロモーション 佐川急便(株)	2月・3月分社会保険料	475,270
			知財総合支援窓口運營業務人件費	102,600
			知財総合支援窓口運營業務人件費	384,000
			1月2月3月分プロバイダ料金等	6,469
			2月3月インターネット回線使用料等	70,550
コピー料金	3,691			
3月分SBSラジオ20秒スポット	185,400			
月刊「発明」等郵送料	7,549			
預り金	静岡銀行 本店	源泉徴収税等	1,197,053	
未払消費税	静岡税務署	29年度消費税	928,800	
未払法人税等	静岡税務署	29年度法人税	1,400,000	
流動負債合計				4,761,382
(固定負債)	退職給付引当金	定期預金 静岡銀行 本店	職員の退職給付に備えるため、 当事業年度末における退職給付 債務に基づき引当している。	5,913,614
固定負債合計				5,913,614
負債合計				10,674,996
正味財産				34,174,456

監査報告書

平成29年度事業報告並びに正味財産増減計算書、貸借対照表及び財産目録を監査した結果、定款及び各規定に基づいて適正かつ正確に処理されていることを確認致しました。

平成30年5月11日

監事

石垣 明彦



監事

中村 仁

